

# 競技上の注意事項

- 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。
- 1 (1) 各日程の試合開始予定時刻の20分前までに、受付を行うこと。  
(2) 試合前のウォームアップは、トスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ3本のみとする。  
(3) 20秒ルール・90秒ルールは、厳守のこと。  
(4) 試合の進行を妨げるような発声や相手を威嚇するような言動は、禁止する。  
(5) 試合時の服装は「清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウエア」とする。服装の色は、規制しない。ただし、シャツについては男女ともに襟付きとする。ワンピースの着用は認める。また、ラケットのストリングス上のロゴは認めない。なお、ボールパーソンの服装も選手の服装と同じとする。  
(6) 試合時のユニフォームに、ゼッケン着用等によるへの学校名表示を励行する。団体戦においては全国高体連テニス専門部の服装規定に則って学校名を表示すること。
  - 2 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控えの選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入ってください。
  - 3 荒天時の場合も原則として、予定試合会場に定められた時間に集合とします。問い合わせは下記の連絡先にしてください。日程や会場の変更については、大会本部の指示に従ってください。
  - 4 観客の応援については、次の内容をお願いします。  
(1) インプレー中(サーバーがレディポジションについた時から)には、故意に声を出すことや身体の一部を動かすことを禁止する。  
(2) 応援する選手の相手プレイヤーのプレーに関する言動は禁止する。  
(3) 観客の審判に対する一切の言動を禁止する。(観客は勝手にジャッジしたり、審判のジャッジにクレームをつけない。)  
(4) 選手に対する技術的なアドバイスは禁止する。  
(5) 応援に際しては、隣コートの状況に十分な配慮をする。
  - 5 棄権及び失格について  
次に該当する場合は、学校(選手)に対してペナルティーを課すことがある。また棄権及び失格とすることがある。
    - 試合に際し選手がコートに入っていない場合
    - レフェリーや審判に従わない場合
    - ケイレンなどによりプレーが続行できない場合
    - その他、ルールに著しく違反した場合
  - 6 その他  
(1) 試合球は、男女ともウィルソン「US OPEN EXTRA DUTY」(エクストラ・デューティー)とし、団体戦5缶(2個入り)、シングルス1人1缶、ダブルス1組1缶各高校で用意する。  
(2) 貴重品・携行品は、各校で責任をもって保管すること。  
(3) 各会場でゴミを散らさず、出たゴミは必ず持ち帰ること。  
(4) 各会場で、テニスコート周辺以外の場所には立ち入らない。また、他の妨げとなるような場所での練習は行わない。  
(5) 会場に自転車で来た者は、所定の場所に駐輪すること。  
(6) 事故やけがなどのないよう体調の管理等に十分配慮する。  
(7) 監督会議を9月25日(日)10:30からメインテニスコート本部室で行います。監督会議内容は別紙プリント参照  
(8) 連絡及び問い合わせ先  
〒861-0304 山鹿市鹿本町御宇田312番地 熊本県立鹿本商工高等学校  
高体連テニス専門部 委員長 秋吉 博之  
TEL 0968-46-3191 FAX 0968-42-3031
  - (9) 郵便振替口座
- |      |               |
|------|---------------|
| 口座番号 | 01750-8-67276 |
| 口座名称 | 熊本県高体連テニス専門部  |
- (10) 諸注意・表彰式には、テニスウエア・テニスシューズで参加して下さい。全国委員会のおりに、式にはきちんとした態度で臨むようにと注意がなされています。

# 団体戦の注意事項

## 1 選手受付について

- (1) 10月8日(土)各学校の代表は、8:40までに各会場本部で受付するとともに、オーダー用紙(3枚とも、1回戦勝者と対戦する学校はその対戦終了後)を提出すること。各日程の試合開始20分前までに、各学校の代表者が出席を届けること。学校の事情や不意の事故等で事前に連絡がない限り、開始時刻に遅れたチームは棄権と見なす。
- (2) チームの選手が7名に満たない場合には、オープン試合とし7名満たない学校は勝ち上がれない。7名に満たない学校と対戦するときは以下の通りとする。終了後、敗者審判をお願いします。

人数	2名	3名	4名	5名	6名
試合形式	シングルスNO.1 シングルスNO.2	シングルスNO.1 ダブルスNO.1	シングルスNO.1 ダブルスNO.1 シングルスNO.2	シングルスNO.1 ダブルスNO.1 ダブルスNO.2	シングルスNO.1 ダブルスNO.1 シングルスNO.2 ダブルスNO.2

## 2 試合の順序・方法について

- (1) 試合は、シングルスNo.1・ダブルスNo.1・シングルスNo.2・ダブルスNo.2・シングルスNo.3の順に行う。多面使用の場合は複数の試合を同時進行する。勝敗が決定した時点で試合を打ち切る(ゲーム途中の場合もその時点で打ち切る)。ただし、初戦はすべてのポイントを行う。
- (2) 試合の1回戦～準々決勝戦は1セットマッチで行い、準決勝戦・決勝戦・3位決定戦・2位決定戦は8ゲームマッチで行う。6ゲームズオールまたは8ゲームズオールの後は、12ポイント制タイブレーク方式を採用する。
- (3) 進行の状況に応じて、2面～5面の同時進行で行うことがある。

## 3 選手オーダーについて

- (1) 同一選手がシングルス、ダブルス両方に出場することはできない。
- (2) 選手オーダーは、登録選手の中で各対戦ごとに組み替えることができる。ただし、シングルス、ダブルスともに実力順に出場する。ダブルスの順位については、校内順位の数をたした数の小さい方を上位とする。同数の場合は上位者のいる方を上位とする。なお、オーダー用紙は同じ内容のものを3部(本部用、対戦校交換用、自校控用)作成し、対戦決定後すみやかに本部へ提出すること。

## 4 試合進行について

- (1) 各会場の対戦については、各会場担当者の指示に従うこと。
- (2) 試合開始にあたっては、両校監督・選手整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。監督は、相手校に対し選手の紹介・確認を行う。
- (3) ベンチコーチは、当該校の登録監督もしくは登録選手に限る。1コート1名以内。助言はエンド交代時のみに行う。多面進行で、複数のベンチコーチがコートに入ることは禁止する。

## 5 登録選手の変更について

選手の変更は、9月23日(金)17:00まで選手変更届に記入し専門委員長へ郵送またはFAXすること。監督会議で確認します。監督会議以降は、原則として認めない。

## 6 審判について

- (1) 審判は自信を持ってジャッジを行い、プレイヤーに聞こえるようはっきりとコールする。また、審判用紙の記入を行う。
- (2) 各日程、各会場最初の対戦は対戦校同士の相互審判とし、次の対戦から敗者校による審判とする。審判は主審とサービスラインアンパイアの2人制です。
- (3) 10月8日(土)の審判は、日程及び会場2,3ページ目団体競技進行計画表の指示に基づいて行う。なお10月9日(日)の準決勝以降の審判は九州選抜熊本大会競技補助員校に行ってもらいます。10月8日(日)8:30にABテニスコートに集合して下さい。

## 7 表彰は4位まで行う。

## 8 第39回全国選抜高校テニス九州地区大会について

上位2校は全国選抜高校テニス九州地区大会Aブロック大会の出場権を得る。九州地区大会の開催期間は11月18日(金)～21日(月)、開催地

は熊本市。3位校も、同時期熊本市で開催されるBブロック大会の出場権を得る。

- 9 昨年度優勝校(男子学園大付属高校、女子学園大付属高校)は、10月9日(日)メインテニスコートに優勝旗を持参して下さい。

## 個人戦の注意事項

- 1 選手受付について  
各日程の受付時間(8:40)までに、選手本人(ダブルスの場合2人揃って)が出席を届けること。
- 2 試合の順序・方法について
  - (1) 試合の1回戦～準決勝戦と順位決定戦は、1セットマッチで行い、決勝のみ8ゲームマッチで行う。6ゲームズオールまたは8ゲームズオールの後は、12ポイント制タイブレイク方式を採用する。
  - (2) 試合の順序は、オーダー・オブ・プレー表に従う。
  - (3) 順位決定戦は各種目、シングルスは8位まで、ダブルスは4位まで行う。
- 3 試合進行について
  - (1) 各コート控えになっている選手は、前の試合が終了したら直ちにコートにはいること。遅延の場合には、ペナルティーを課すことがある。
  - (2) 試合では、早番の選手がボールを出し、勝者は未開封のボールを貰って次の対戦にはいること。敗者は、試合で使用したボールをもらいコートに待機しておくこと。
  - (3) 各コートの第1試合はセルフジャッジとし、以降敗者審判とする。
  - (4) コートに入れる者は、選手のみとする。ただし、シングルの試合に限り1名のボールパーソンを認める。(試合進行を速やかにするため、できるだけボールパーソンをつけること)
  - (5) 試合の進行を妨げるような発声や相手を威嚇するような言動は禁止する。
- 4 出場選手の変更は認めない。ただし、怪我等で替わりに出場するときは1試合のみでき次へ勝ち上がれない。
- 5 審判について
  - (1) 審判は自信を持ってジャッジを行い、プレイヤーに聞こえるようはっきりとコールする。また、審判用紙の記入を行う。
  - (2) セルフジャッジで試合を行う場合はサーバー側がカウントをコールする。紛らわしい判定については相手側の有利になるようにする。
- 6 表彰はシングルス6位まで、ダブルス4位まで行う。